

OZONE

F*RACE2

取扱説明書 - JP



目次

はじめに	01
警告	02
F*レース2に関して	03
準備—プロテクション	04
準備—レスキューの組み込み	09
準備—アクセルシステム	13
装着	15
調節	17
収納および装備	20
使用法および保守	24
オゾン品質保証	28
仕様	29

始めに

オゾンを選んでいただきありがとうございます。

フリーフライト愛好家、競技者ならびに冒険者のチームであるオゾンの使命は、最新のデザインと入手可能な最高技術から生み出される素材を使用して最高品質のパラグライダー用装備を創り出すことです。

我々の開発チームは南フランスにベースを置いています。近くにはグルドン、モナコ、ブレンヌ峠などのフライトエリアがあり年間300日以上もフライトを可能にしています。これはオゾンのグライダー開発にとって貴重な資産ともいえるものです。装備品の選択にあたっては品質および金額に対する価値が最も考慮されるものである事を知っています。それ故、低価格、高品質を実現するために全てのグライダー製品を自社工場で生産するようにしています。製造過程において全てのオゾン製品は多くの厳しい品質検査を受けています。そのおかげで、全てのオゾン製品は我々が期待する高いスタンダードに沿ったものとなっていることを保証できるのです。

オゾンあるいはオゾン製品に関してのさらなる情報をお望みの場合は、オゾンのホームページ(www.fluozone.com)をチェックしていただくか、ファルホークインターナショナル(有)、最寄りのディーラー、スクールあるいはここオゾン本社の我々にご連絡ください。

このハーネスを初めて使用する前に、この取扱い説明書を良く読み内容を理解することは必須です。

安全なフライトを！
チームオゾン

警告

- 全ての航空スポーツは肉体的損傷、麻痺を含む重大な怪我ならびに死亡する危険性の内在するものです。オゾン製品でフライトするには内在する危険性を完全に理解した上で行ってください。
- このオゾン製品の所有者であるあなたは、これを使用するにあたっては、あらゆる危険に対する全ての責任があなたに有る事を自覚して下さい。
- 不適切な使用、改造は危険を増加させます。絶対にしないで下さい。
- 製造者、輸入代理店ならびに販売店に対する、この製品の使用に起因する如何なる損害賠償請求も除外されています。
- 可能な限り練習に励んでくださいー特にパラグライディングにおいて重要な要素であるグランドハンドリングを。地上での貧弱なライダーコントロールが事故の原因の最たるものです。
- 常にこのスポーツの進化に遅れないよう上級コースに参加するなどして日々学習する習慣を身につけるようにして下さい。フライトテクニックならびに機材は進化し続けています。
- フライトにあたっては登録認証を受け、なおかつ改造されていないライダー、プロテクション付きハーネス、緊急パラシュートを、その適正体重範囲内で使用して下さい。認証を受けた範囲を超えての使用は保険(賠償責任、生命など)の対象外になる危険性があります。保険会社に確認することはパイロットであるあなた自身の責任です。
- あなたの装備を徹底して日々およびプレフライト点検を実施してください。不適切あるいは損傷している機材では決して飛行しないで下さい。
- 常に、ヘルメット、手袋、ブーツを装着してフライトして下さい。
- フライトに際しては、適切な技能証と有効なフライヤー登録証を持っている事が必要です。
- 肉体的にも精神的にも健康な状態でのみフライトをして下さい。
- あなたの技能・経験に合ったライダー、ハーネスならびにコンディションを選んでフライトしてください。
- テイクオフする前にフライト場所の地形、気象条件を必ず確認して下さい。疑問の有るときはフライトを断念して下さい。また全ての決定に対しては十分な余裕を持って下さい。
- 雨、雪が降っているとき、風の強いとき、気流の乱れているときあるいは雲中をフライトしないで下さい。
- あなたが適切で安全な判断を下すなら、未永くフライトを楽しむことが出来るでしょう。
- 環境に配慮し、エリアを大事にしてください。
- ライダーならびに関連装備品を廃棄する際には、環境に配慮した方法で行ってください。
- 一般の家庭ごみと同じ方法で廃棄しないでください。

楽しむことがこのスポーツの目的であることを忘れない様に！

F*レース2に関して

F*レース2は、過酷なバックカントリーミッションに挑戦するソロ飛行パイロットのための超軽量ビバークフライト用ハーネスです。レッドブルXアルプスのために設計され、その軽さには妥協がありません。ポッド、コックピット、バックプロテクター、その他すべてのアクセサリーを含めたMサイズの総重量はわずか1.81kg。アドベンチャーフライトの限界に挑戦するパイロットのために、妥協のないハーネスでありながら、耐久性と快適性も兼ね備えています。

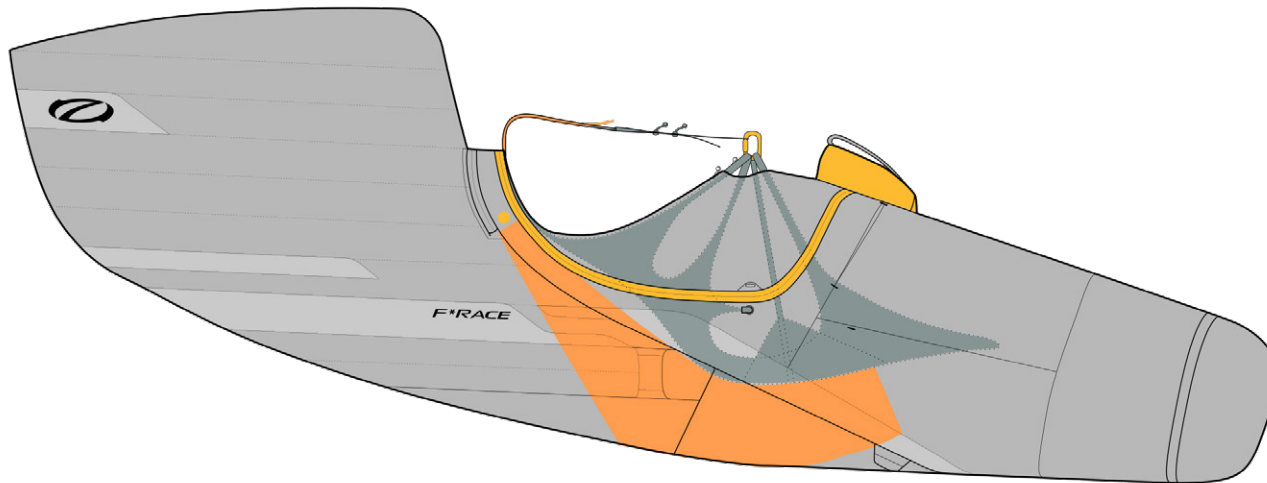
全体的な快適性と耐久性は、コンパクトなハイク&フライシステムでより遠隔地のテイクオフにアクセスしたいパイロットにとって、日常使いのハーネスとして、またXC飛行に最適な便利で軽量なトラベルハーネスとして最適です。高い快適性とアクセス性を備えていますが、初めてのポッドハーネスとしてはお勧めできません。しかしながら、このハーネスで飛行するためにXアルプスで競技する必要もありません。

F*レース2の革新的な構造は、人間工学に基づいたダイナミックパターンを採用し、解剖学的にサポートされるように設計されています。ポッドの両側には、カメラや機材を簡単に出し入れできる大型ポケットが設けられています。ドリンクシステムスリーブとハイキングボール収納スペースを含む大容量のリアコンパートメントに加え、大型のシート下コンパートメントも備えています。コックピットポケットはバッテリーの収納に便利です。取り外し可能なコックピットは大型の機器の収納に最適で、胸ポケットに接続することで飛行中アクセス可能な収納スペースとなります。

フロントに装備されたレスキューコンテナーは、アクセスしやすいハンドルと一体化しています。新しいインフレーターブルプロテクションシステムは、革新的な内部コンパートメント設計により、より効率的になっています。また、セットアップも迅速です。ハイク&フライレースでは一秒一秒が勝負です。新型の50グラムポンプで急速な膨張が可能です。プロテクターは標準装備のバッグを使って膨らませることもできます。ダンプバルブで素早く空気を抜くことができます。インフレーションチューブは飛行中でもアクセス可能です。

F*レース2は、体重110kgまでのパイロット向けにEN 1651-2018規格の認証を取得しています。インフレーターブルプロテクターは大腿部から腰椎上部までカバーし、最大衝撃定格は32G未満です。

準備 - プロテクション



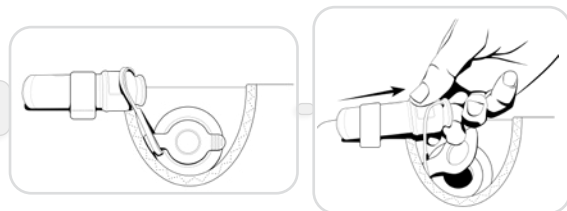
F*レース2は、EN/LTF/CE認証を取得したインフレータブルシート下プロテクターを備えています。巧みに設計されたこのプロテクターは、軽量・コンパクトでありながら優れた衝撃吸収性を発揮します。プロテクターは納品時に組み込まれていますが、使用前に膨らませる必要があります。

警告:インフレータブルプロテクターの最大耐用年数は製造日から10年です。大きな衝撃を受けた場合、プロテクターは最大限のエネルギーを吸収するために変形し、場合によっては破壊に至ることもあります。万がーの場合、一度の使用で製品が廃棄されなければならないこともあります。

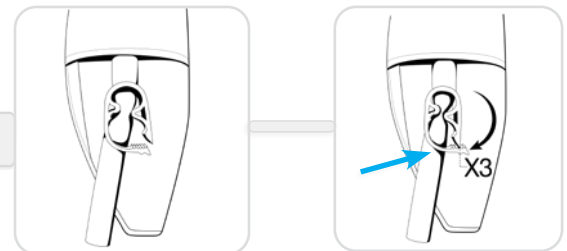
プロテクターは、以下の場合に廃棄する必要があります:製造から10年以上経過している場合、信頼性に疑問がある場合、または外層に目に見える損傷がある場合。廃棄する装備は、間違っ使用されないように破壊してください。

シート下部プロテクションを膨らませる

プロテクションを膨らませる最も簡単な方法は、メインリアポケット内のプロテクションの上部にあるメインバルブの隣にある付属の電動ポンプを使用することです。



右肩にある補充用インフレーションパイプのストッパーが完全に閉じた位置にあることを確認してください。



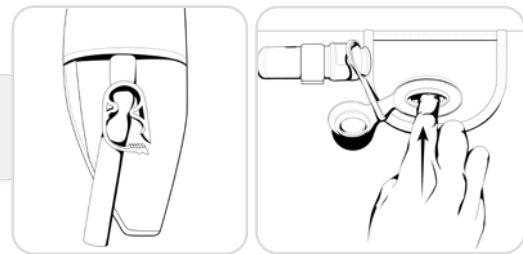
空気を入れるには、灰色のバルブカバーを開け、電動ポンプを挿入します。ゴム製のカラーがバルブに正しく装着され、しっかりと密閉されていることを確認してください。ポンプ側面のボタンをダブルクリックして、完全に空気を入れます。



プロテクションが完全に膨らんだら簡単に空気を入れられなくなるほどに一ボタンを一度押しして膨張を止めます。ポンプを取り外し、バルブカバーがきちんと閉まっていることを確認してください。



圧力は、補充パイプまたはメインバルブで調整できます。補充パイプのストッパーを開けて圧力を抜くか、灰色のバルブカバーの下にある黒いメインバルブを押してください。収納する際は、メインバルブを使ってプロテクターの空気を完全に抜いてください。バルブはノッチで開放位置でロックでき、より速く空気を抜くことができます。



飛行する前に、バルブ カバーと補充パイプのストッパーの両方が完全に閉じていることを確認してください。

警告:プロテクターは完全な保護を保証するものではありません。ハードランディングのエネルギーを最も効果的に吸収する脚の代わりになるものではありません。常にPLF(パラシュートでのランディング態勢)を使用する準備をし、プロテクションだけに頼らないでください。

あるいは、付属の専用スタッフサックに閉じ込められた空気を使って手で膨らませることもできます。電動ポンプが手元がない場合や、バッテリーが切れてしまった場合に代替えとなります。

この方法でプロテクションを膨らませるには、右肩にある補充パイプにアクセスします。



ストッパーを開き、スタッフサックにある吐き出し口に補充パイプを取り付けます。

スタッフサックの中に空気を閉じ込め、押したり/絞ったりして、空気をパイプを通してプロテクションへ送り込みます。



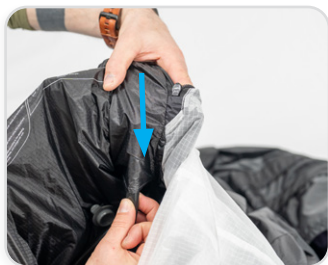
プロテクションが完全に膨らんだら、一スタッフサックを使用して簡単に空気を追加できない状態 - 補充パイプのストッパーを閉じます。



シート下部プロテクションの脱着

インフレータープロテクションを取り外したり交換したりする必要がある場合は、まずメインバルブまたは補充パイプを使用して空気を抜き、次の手順に従ってください：

補充パイプのストッパーを完全に開いてからスライドさせパイプから取り外します。



リアポケットを開けて、パイプを肩とリアポケットのスリーブから引き抜き、穴に通します。



メインバルブを固定しているベルクロをはがします。



シート下のファスナー付きポケットを開けてプロテクターにアクセスし、引き抜きます。



準備 - レスキューの組み込み

F*レス2は、最大3.5リットルの容量のパラシュートを収納できる、フロントマウント型の一体型レスキューパラシュートコンテナを備えています。エンジェルSQプロシリーズなど、最新の軽量レスキューパラシュートのほとんどに対応しています。大型パラシュートや操縦可能なロガロタイプには適していません。ハーネスには、肩に接続するレスキューブライダルが付属しています。

警告: オゾンは、レスキューパラシュートシステムの組み込みは資格を持った専門家に依頼することを強く推奨します。ご不明な点がある場合は、必ず専門家にご相談ください。あなたの安全はそれにかかっています。

適切なコネクタ(7mm径のステンレス製ラピッドリンクまたはそれ以上の強度のもの)を使用して、レスキューパラシュートのブライダルを赤いハーネス側のブライダルに接続します。パイロットの中には、重量を軽減するためにブライダルをヒバリ結びで接続する人もいます。

ご注意ください: ブライダルの短いパラシュートは、F*レス2に組み込まれているブライダルに取り付けてください。長いYブライダル付きのパラシュートをお持ちの場合は、Yブライダルをハーネスの肩口にある接続ポイントに直接取り付けてください。長いYブライダルをハーネスに組み込まれているブライダルに直接取り付けないでください。



レスキューパラシュートのトグルをヒバリ結びでインナーコンテナに取り付けます。トグルはインナーコンテナ側面の接続ポイントに取り付けることをお勧めします。

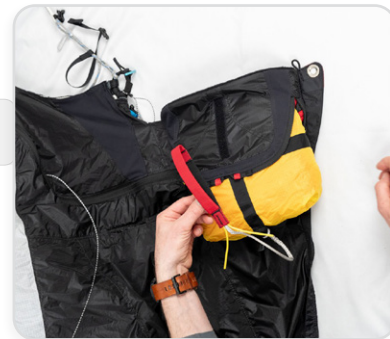


注意: トグルとインナーコンテナ間の長さがパラシュートのラインと絡まらないことを確認する必要があります。

パラシュートをレスキューコンテナの形に合うように圧縮し、コンテナに収納します。プライダルはコンテナの内側に、パラシュートはレスキューグルが外側、レスキューコンテナの底部を向くように配置します。



トグルをベルク口の所定の位置に固定する前に、黄色のピンをレスキューコンテナの上側フラップにある2つの赤いループに挿入します。1つのピンは左側に、もう1つのピンは右側に挿入します。



パラシュートをレスキューコンテナ内に押し込みながら下側のフラップを引き上げて、黄色のピンを下側のフラップの黒いループに通します。





次に、レスキューコンテナの上側フラップにある黒いループに黄色のピンを差し込みます。

レスキューコンテナのファスナーを閉じます。まずは右側の短いファスナーから閉じます(下の左の画像を参照)。スライダーをピンの下の中央に向かってできる限りスライドさせてから、スライダーを最右端の位置(中央の画像を参照)に戻して閉じます。スライダーがフラップの下にしっかりとおさまっていること(下の右の画像を参照)を確認してください。





反対側も同様に、スライダーをファスナーの端からレスキューコンテナの中央に向かってピンの下までできる限り押し込みます。次に、スライダーが元にあった端までスライドさせ、フラップの下に収まるように、ファスナーを完全に閉じます。

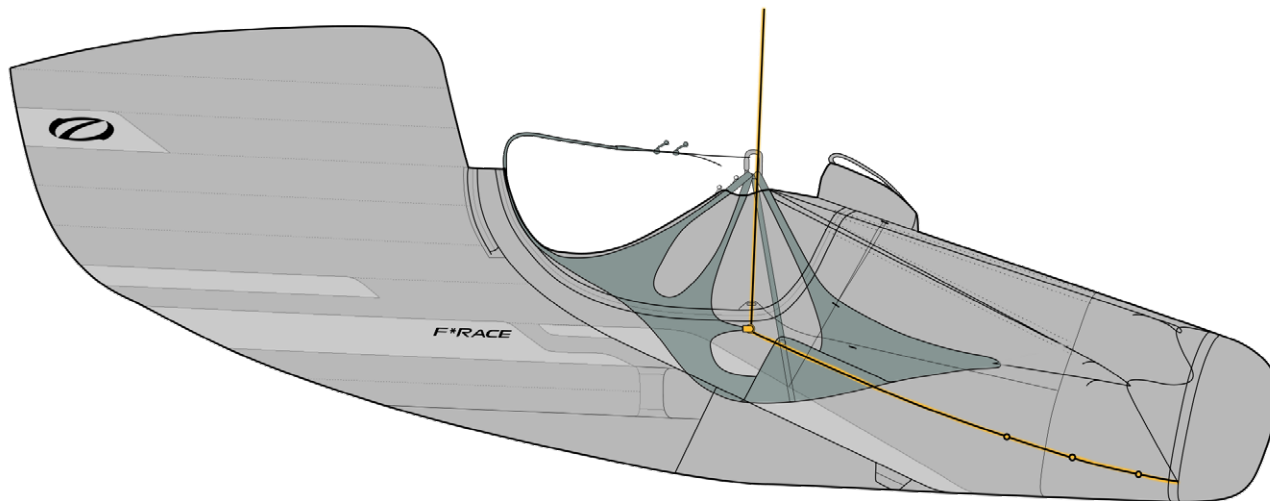


ピンの先端を赤い穴にきちんと収納してから、下部のフラップカバーを赤いトグルに差し込みます。これでパラシュートの取り付けは完了で、下図のようになります。



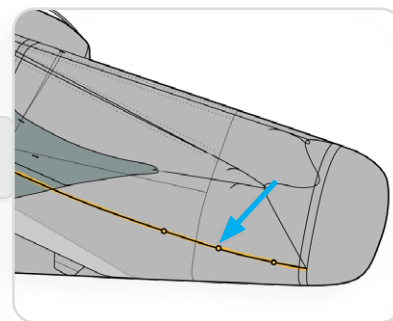
警告:必ずシミュレーターに吊り下がり、レスキューパラシュートの引き出しチェックを行ってください。これにより、レスキューシステムが正しく機能することを確認するだけでなく、組み込み手順をよりよく理解することができます。

準備 - アクセルシステム



F*レース2には、ヒバリ結びでアクセルラインに接続された 3 段アクセルバーが装備されています。

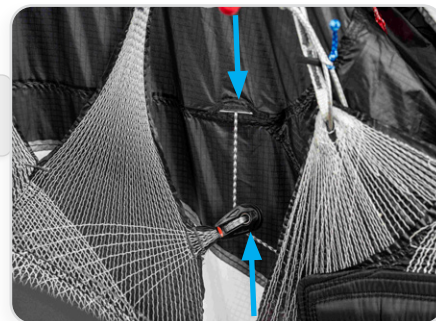
アクセルライン全体の長さは調整可能です。短くするには、ヒバリ結びでラインのより上側の結び目に取り付け、長くするにはより下側の結び目を使用します。あらかじめアクセルライン上に設置されている結び目の位置を移動することで、ニーズに合わせてより細かく調整することができます。



アクセルバーまたはアクセルラインを交換する場合は、ヒバリ結びを解いてアクセルバーをラインから取り外します。次に、ハーネスからラインを外します。フットプレートに取り付けられたバンジーコードを外すと、アクセルバーが完全に外れます。

アクセルラインの交換は、まったく逆の手順になります。

まず、ポッド側面のスリットからラインを下ろし、その後ロンスタンのプーリーに通します。アクセルバーをヒバリ結びで必要な位置に取り付け、次にバンジーコードでバーをフットプレートに固定します。ラインがすべての構造用テープの外側を通るようにしてください。

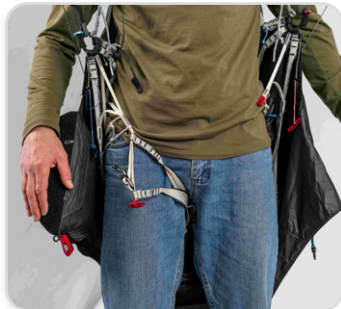


警告:アクセルラインは左右均等な長さでなければなりません。また、短すぎると、空中で張力を受けた際に誤ってアクセルシステムが作動してしまうため、ご注意ください。飛行前に、地上で必ず長さと対称性を再確認してください。

アクセルラインの長さ調整は、シミュレーターを使用して行うのが最適ですが、地上で行うこともできます。アクセルラインが短すぎないこと、そして左右対称になっていることを確認してください。空中で安全を確認したら、バーに足が楽に置けること、そしてシステムがフルスピードまでスムーズに作動することを確認してください。何度か飛行しながら、適切な長さに調整してください。

装着

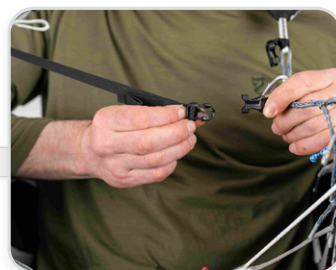
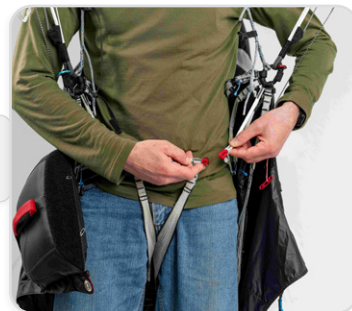
初めてフライトをされる前に、ハーネスをシミュレーターに吊り下げて、正しくフィットするか確認し、機能や調整に慣れることをお勧めします。肩の調整ストラップを調整して最適なフィット感を見つけ、ランバーサポートを調整して快適なリクライニング姿勢を確保してください。吊り下げの際は、必ずメインのハングポイントに取り付けたカラビナにのみ吊り下げてください。

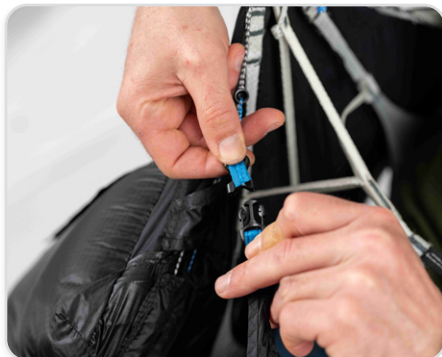


ハーネスを装着するには、まず固定された右脚ベルトの中に足を踏み入れ、次に肩ベルトに両腕を通します。次に、左脚/チェストベルトを締結します。赤いロックが赤いループに通っていることを確認してください。



肩ベルト固定クリップを締結します。





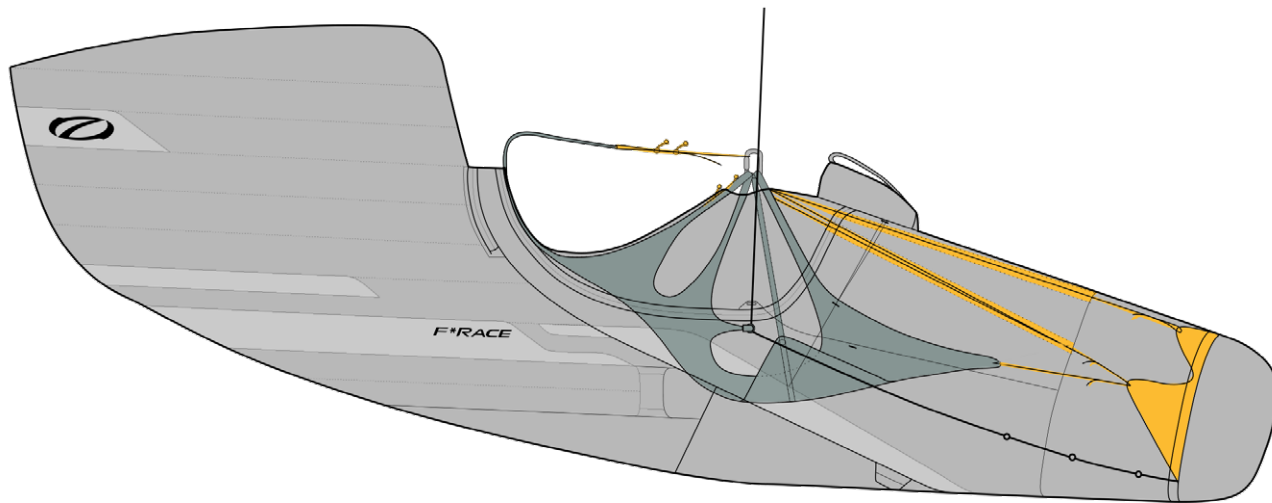
これでポッドを閉じることができます。ポッド左側の青いオス クリップを、右側のメインハングポイントのすぐ下にある色分けされた青いメス クリップに取り付けます。

次に、レスキューコンテナをボディの前面に渡して、赤いTロック（左側のメインハングポイントの下にある）をレスキューコンテナの側面にある色分けされたアイレットに通します。



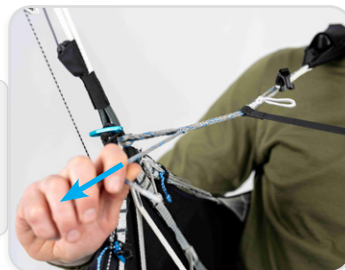
胸ポケットを肩ベルトにある調節可能なクリップに取り付けます。

調節



肩ベルト

肩ベルトの長さは、より継ぎされた調整タブで調整できます。ハーネスを装着して立った状態で肩ベルトを調節し、快適にフィットするようにしてください。シミュレーターにぶら下がり、座った状態では、ベルトが快適でしっかりと固定されていることを確認してください。きつすぎたり緩すぎたりしないようにしてください。締めるにはラインを引っ張り、緩めるにはループを引いてください。



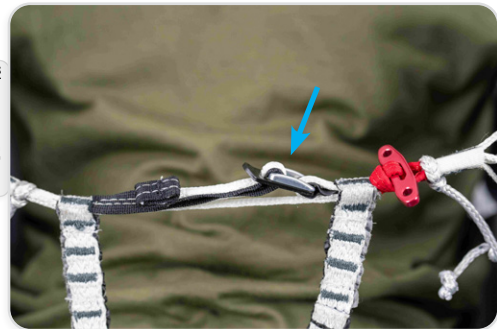
リクライニング角度

快適な飛行姿勢を得るために、ランバーサポートを調整してください。正確な調整は空中で可能で、腰が完全に支えられ、腹筋に力が入らないように調整してください。より直立した姿勢にするには、白いラインを前方に引いてランバーサポートを締めます。よりリクライニングした姿勢にするには、青いラインを前方に引いてランバーサポートを緩めます。



チェストベルト

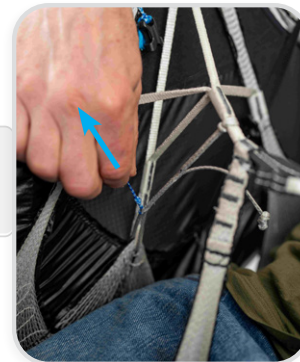
チェストベルトの設定は非常に繊細なため、わずかな調整でも飛行中の感覚に大きな影響を与えます。空中で調整することも可能ですが、地上で行う方が安全です。ロールレスポンスとグライダーフィードバックを少なくしたい場合はチェストベルトを締め、ロールレスポンスとフィードバックを強くしたい場合は調整タブを緩めてください。機体に付属の取扱説明書を参照し、推奨されているチェストベルト設定範囲以外で飛行しないでください。





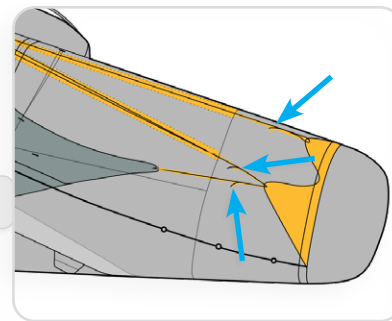
ABS 調整

ABSは、より継ぎされた調整ストラップで調整できます。ロールレスポンスとグライダーフィードバックを少なくしたい場合は調整ストラップを短くし、ロールレスポンスとフィードバックを強くしたい場合は調整ストラップを緩めます。両方のストラップが対称に設定されていることを確認してください。



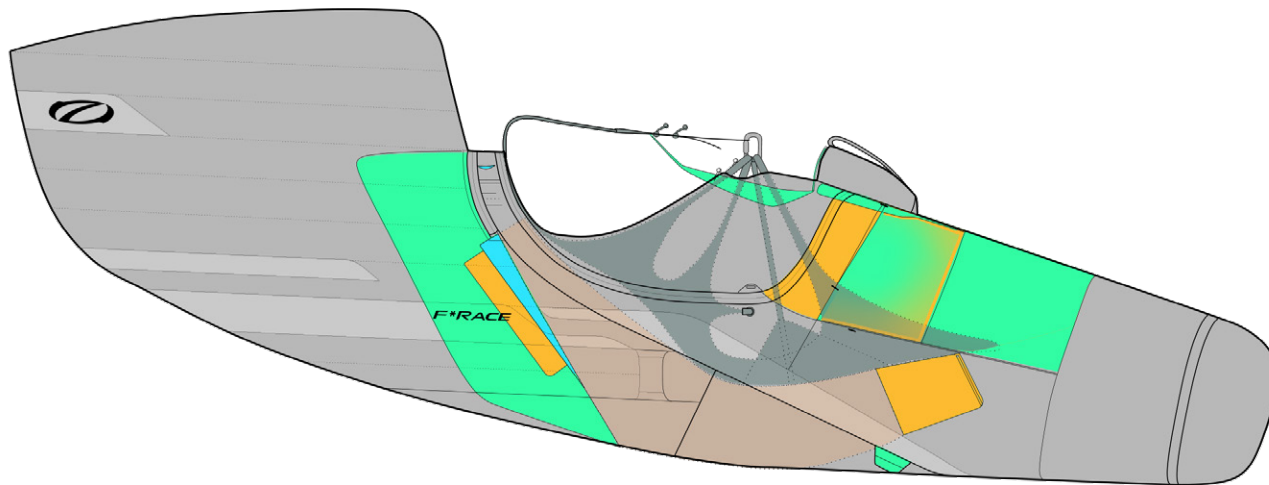
ポッドの調整

ポッドの長さやフットプレートの角度は、ポッドラインの結び目を使って調整できます。必要に応じてヒバリ結びの位置を調整してください。



警告:調整は左右対称に行ってください。変更する場合は、時間をかけて自分に最適な位置を見つけ、毎回少しずつ調整するようにしてください。

収納および装備



F*レース2は、豊富な収納スペースを備えています。大容量のメインリアポケットには、ドリンクシステム用スリーブが内蔵されています。シート下のプロテクション用ポケットの前部にも、さらに収納スペースがあります。両サイドにはサイドポケットがあり、右側にはカメラやメディア機器の収納に最適な大型のアクセスしやすいポケット、左側には大型のファスナー付きポケットがあります。どちらにもアンカーポイントがあります。レスキューコンテナの下にはバッテリーコンパートメントがあり、さらに取り外し可能なチェストフェアリングには、計器や食料などを収納できるスペースがあります。

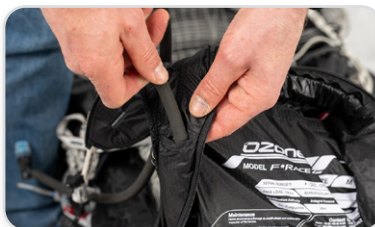
リアポケット

大容量のファスナー付きリアポケットには、グライダーザック、ウォーキングポール、その他のビバークフライト用装備など、あらゆる装備を収納するのに十分なスペースがあります。



ドリンクシステム

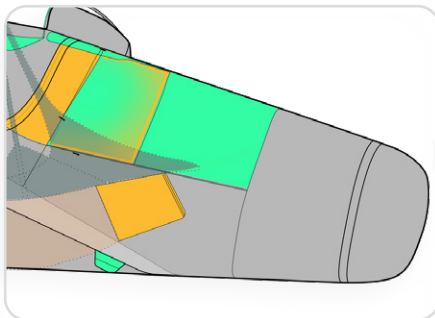
リアポケットにはドリンクシステム専用のスリーブがあり、ポケット上部の左側にホースを通す開口部があり、左肩ベルトにはホースを固定するアンカーポイントがあります。



サイドポケット

左側はファスナー閉じられ、内部にアンカーポイントが付いているので貴重品を安全に保管できます。右側はアンカーポイントが付いていてマグネット閉めなのでよりアクセスしやすく、メディア機器などに最適です。



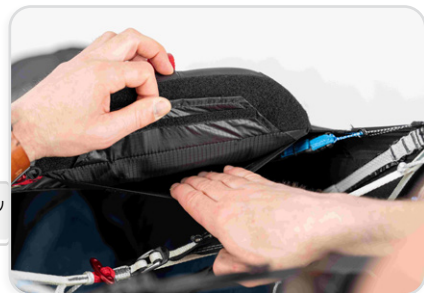


シート下ポケット

シート下のプロテクション用ポケットの前部にもさらなる収納スペースがあります。

レスキューコンテナポケット

レスキューコンテナの裏側には、バッテリーパックやその他の薄型のアイテムを収納するのに適したポケットがあります。



チェストフェアリングコックピット

取り外し可能なチェストフェアリングコックピットには、より大きな計器パネルと胸部に取り付けられたファスナー付きポケットが含まれています。





ハイキングポールポケット

リアポケットの内側、ドリンク用スリーブの隣には、ハイキングポールを安全に収納するための丈夫な素材で作られた特別な収納スペースがあります。



尿排出システム

F*レース2には、ポッドの右下側に尿排出用チューブ用スリットがあります。



肩ベルクロマウント

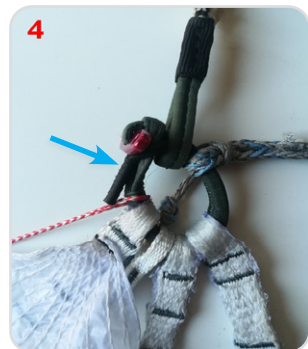
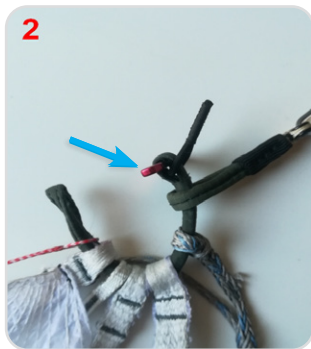
左肩ベルトには、小型バリコ、ラジオ、または GPS 追跡デバイスに適したベルクロによる取り付けポイントがあります。

使用法および保守

グライダーの接続

F*レース2をメインハングポイントに統合されているXライトコネクトを使用して、翼のライザーに接続します。Xライトコネクトは、Tロックをメインライザーループの前または後ろに配置できますが、いずれの場合もAライザーが外側を向くようにしてください。下の例は、Tロックを前にしたXライトコネクトの配置を示しています。

1. Xライトコネクトを開きます。
2. ライザーのループにTロックを通します。
3. TロックをXライトコネクトのもう一方の端のループに通します。
4. タブが前方かつ下を向くように、弾性固定具を T ロックの上に引っ張ります。



F*レース2はXライトコネクトが標準装備ですが、エーデルリッド製AURAカラビナ(別売)にも対応しています。カラビナを交換する際は、図のように5つの構造ループすべてがカラビナを通過するようにしてください。

メインハングポイント以外に適切にハーネスにライザーを取り付けるは場所はありません。

プレフライトチェック

テイクオフの前に徹底的なプレフライトチェックを行うことが重要です。

- レスキューのクローズピンが正しく組込まれていて、レスキューコンテナ周辺のファスナーが閉められているか確認
- 構造部材のテープが破損していないか確認
- XライトコネクがTロックと弾性固定具で正しく取り付けられ、疲労や損傷の兆候がないことを確認
- ライザーがねじれておらず正しくXライトコネクに取り付けられているか確認
- アクセルシステムがベルトなどに絡んだりしておらず正しく締結されているか確認
- 全てのポケットがファスナーで閉じられているか確認
- 左脚/チェストベルトが正しく締結されているか確認
- 肩ベルト固定クラブが正しく締結されているか確認
- レッグベルトが正しく締結されているか再確認

レスキューの開傘

もしレスキューを投げると言う不運な状況に陥ったら、確信を持って投げてください:

見て:掴んで:引き出して:投げる。

- トグルを見て、掴んで、クローズケーブルが開放されるまで引く。
- インナーコンテナを引き出す。レスキューがコンテナからハーネスの側方へ引き出されるように外方向へ引き出すのがベストです。トグルを上方向に引っ張り上げてもしレスキューが引き出されない可能性があります。装備を理解し、それに合わせたテクニックを用いてください。
- レスキューをグライダー方向ではなく、思いっきり障害物のない外側のスペースに放り投げる。この際トグルも一緒に投げることを忘れないようにすることが重要です。開傘を速くするために空気の流れの方向そして回転方向と反対方向へ投げるようにしてください。
- もしレスキューを投げても開傘しない場合(エネルギーの低い緊急事態、例えばディープストールなど)はレスキューブライダルを掴んで力強く引いてください。このようにすると開傘を速める効果が期待できます。
- レスキューが開傘したら次はパラグライダーを無効にすることです。その方法としてはいくつかあります—Bラインストール、リアライザーストール、Aラインを手繰り寄せてキャンピーを抱きかかえる、ブレークを使用してストールさせる。最良のテクニックは状況によって変わります。最も重要なことは、グライダーがレスキューの動きに逆らってダウンブレン状態にならないように完全にグライダーを無効にすることです。どの方法を選択するにしてもグライダーが回転しないように左右対称にしてください。そうしないとグライダーがレスキューに突っ込んでレスキューが正常に機能しなくなります。

- ほとんどのハーネスのレスキューブライダル取り付け位置により、レスキューを開傘すると自動的にパイロットの姿勢はPLF態勢（脚が下に向く）になります。もしそうならない場合は、着陸時の衝撃を脚で吸収できるように、どんなことをしてでもこの姿勢になるようにしてください。
- 緊急事態やレスキューを開傘した状況で着陸する際は常にPLF態勢を取ってください。

重要: レスキューパラシュートの開傘によって引き起こされる非構造的損傷は通常の消耗とみなされ、保証の対象外となります。

トーイング

F*レス2はトーイングで使用することが可能です。トーイングブライドルはXライトコネクタに取り付ける必要があります。ご不明な点がある場合は、資格のあるトーイングインストラクターにお問い合わせいただくか、トーイングリリースシステムに付属の取扱説明書をご覧ください。

外部レスキューコンテナ

F*レス2は、統合されたフロントマウントレスキューコンテナを備えているため、プライマリシステムの妨げになる可能性があるため、追加のパラシュートを装備することは推奨されません。

着水

着水した後はレスキュー、シート下部プロテクション、背部コンフォートフォーム、フットプレートを取り外し乾燥させます。もし海水に着水した場合は、塩の痕跡が完全に除去されるまでハーネスおよびすべての部品を清水を使用してしっかりと清掃する必要があります。再組立をする前に、ハーネスおよびすべての部品が完全に乾いていることを確認してください。

重要: 着水した場合、バックプロテクションおよび背部部分の浮力によってパイロットの顔面を水中に抑え込む危険性があります。着水したらすぐさま全てのベルトを開放し、ラインに絡まらないようにハーネスから離れてください。

検査

安全のためにすべての装備を定期的に検査することが極めて重要です。オゾンとしては通常のプレフライトチェックの他に12か月ごとの検査を推奨します。検査には縫製部、テープおよび構造的に重要なすべての部分を目視でチェックします。摩耗が最も起こりやすいXライトコネクタ周りのテープには特に注意が必要です。レスキューパラシュート システムは 6 か月ごとに点検し、製造元の推奨に従ってパラシュートをリパックする必要があります。もし何らかの損傷を発見するか疑問がある場合はハーネスを専門家に検査してもらってください。

保守

F*レース2は、正しくメンテナンスすれば、数多く飛行でき、長年使用することができます。グリーンで耐空性を保つためには丁寧に扱い、以下の点にご注意ください:

- 紫外線、熱、湿気に過度にさらさない。
- ハーネスを乾燥させてたたみ、涼しくて乾燥した場所に保管する。
- 決してハーネスを引きずらない。特にランディング時。
- 埃や油、その他の腐食性物質から遠ざける。
- 清掃には水と布を使用する。
- 過度のG荷重や曲技飛行は避ける。

廃棄

ハーネスの寿命が来たならば、すべての金属パーツを取り外してから環境に優しい方法で廃棄してください。通常のご家庭ごみと一緒に廃棄しないでください。

オゾン品質保証

オゾンでは我々の製品の品質に大変こだわっています。全てのオゾンハーネスは自社工場で最高のスタンダードに沿って作られています。製造されるハーネスの全てが一連の厳しい品質検査を受け、使用される部品は全て追跡調査が出来るようになっています。我々はユーザーからのフィードバックを大いに歓迎しますしカスタマーサービスも忘れていません。通常の磨耗や破損あるいは不適切な使用によるもの以外の製造上の欠陥および不具合に対していつでも無料で修理を行います。また、オゾンならびに代理店は、最高品質のサービスと修理を提供しています。ハーネスに破損、摩耗などの不具合が見つかった場合には適切な価格で修理をいたします。

ディーラー、代理店に連絡が取れない場合には、オゾンに直接コンタクト (info@ozone.com) してください。

最後に

安全に飛ぶことがこのスポーツで最も重要なことです。安全であるためには定期的に練習をし、周りに存在する危険を理解しなければなりません。このためには、出来るだけ定期的にフライトし、可能な限りグランドハンドリングをし、気象に関して常に興味を持たなければなりません。これらのどれ一つでも欠けていれば、不必要にあなた自身を危険にさらしていることとなります。

毎年多くのパイロットがテイクオフで怪我をしています;その仲間入りをしないようにして下さい。テイクオフが最も危険に晒される瞬間です。テイクオフの練習をたくさん行ってください。いくつかのテイクオフエリアは小さくて難しく、コンディションも常に理想的ではありません。もしあなたがグランドハンドリングに長けていたなら、他の者が苦しんでいたとしても確実に安全にテイクオフすることが出来るでしょう...出来る限り練習を積んでください。怪我をする確率は減り、素晴らしいフライトを楽しむ確率は上がるでしょう。

最後に、自然を敬ってください。自然はあなたが想像するより遥かに大きな力を持っています。あなたの技術レベルに照らし合わせて適切なコンディションがどの程度であるかを理解し、その範囲内に常に留まってください。

F*レース2で楽しいフライトを
オゾンチーム

仕様

	S	M	L
重量* (kg)	1.52	1.62	1.72
全備重量* (kg)	1.71	1.81	1.91
パイロット身長 (cm)	155-170	170-185	185-200

*レスキューブライダル+Xライトコネクトを含む重量

** 全ての装備を含む重量

素材

生地

リップストップ 40D, 30D, 20D, ライクラソフトシェル, ダイニーマ糸によるネット縫製

メインテープ

テクニサンブル7

エーデル/リッドダイニーマタウラスライン

バックル

Tロックトル

カラビナ

Xライトコネクト

認証

F*レース2は、最大荷重110kgでEN1651:2018+A1:2020およびNFL2-565-20認証を取得しています。さらに、シート下部プロテクションはAlienor (フランス)によりCE規制に準拠していることが確認されています。

含まれるアクセサリ

- Xライトコネクト
- 統合されたレスキューブライダル
- 膨張式プロテクション (320g)
- 電池駆動マイクロポンプ (50g)
- 膨張/パッキングバッグ (60g)
- 3段軽量アクセル (40g)
- チェストフェアリングコックピット (140g)

INSPIRED BY NATURE, *DRIVEN* BY THE ELEMENTS

FLYOZONE.COM

輸入者 ファルホークインターナショナル有限公司
〒154-0021 東京都世田谷区豪徳寺1-53-12
<https://www.falhawk.co.jp> Email: info@falhawk.co.jp

OZONE

Ozone Gliders Ltd
16 Barnes Green
Livingston
Scotland
UNITED KINGDOM